

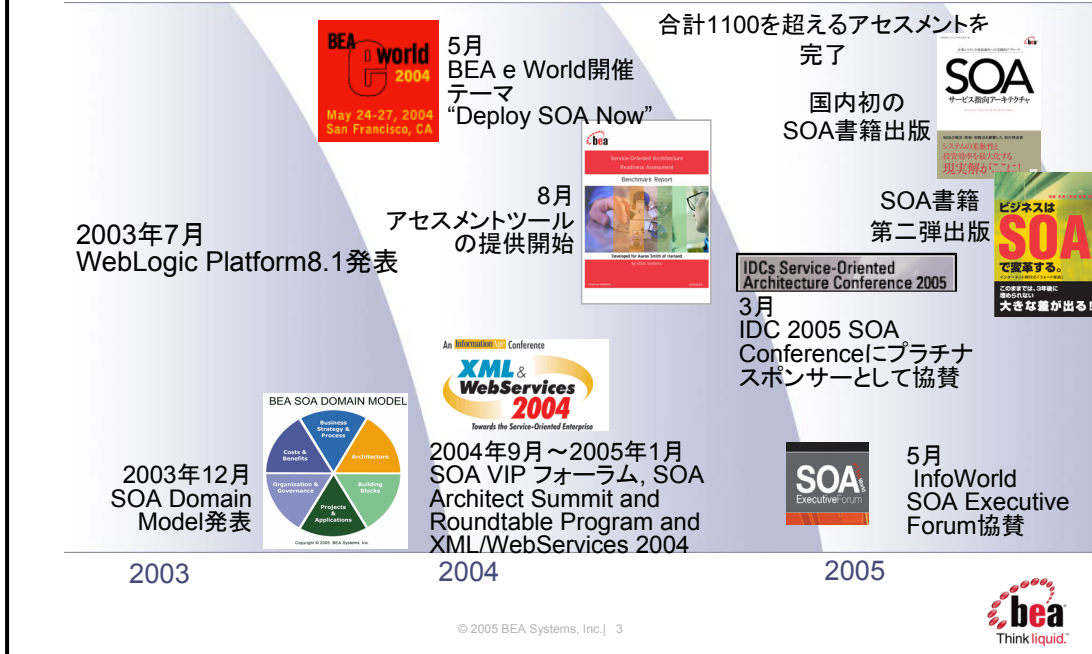
レガシーからのサービス指向 マイグレーション

早津 俊秀
プリンシパル コンサルタント
日本BEAシステムズ
プロフェッショナルサービス本部

Agenda

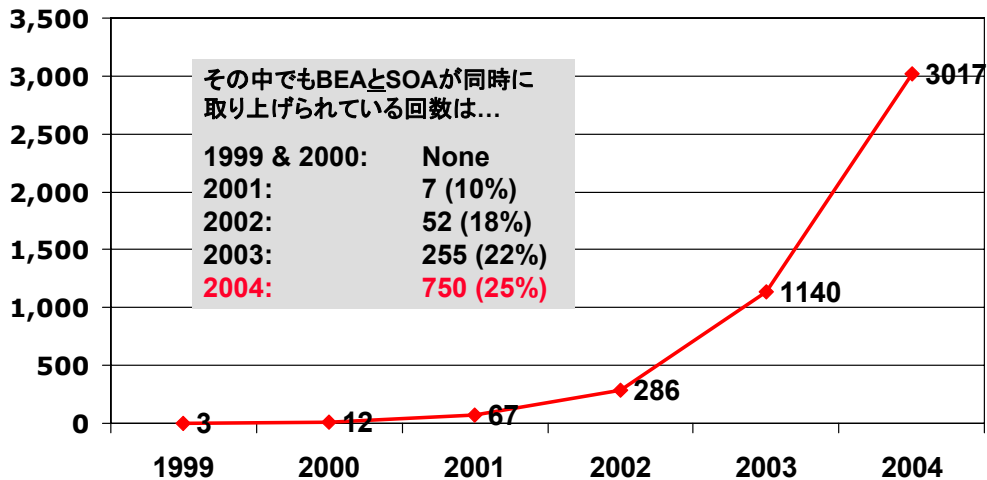
- SOAカンパニー BEAシステムズとは
- SOAとは
- SOA適用事例
- SOA Best Practice
- SOA コンサルティングメニュー

“SOAカンパニー” BEAの軌跡



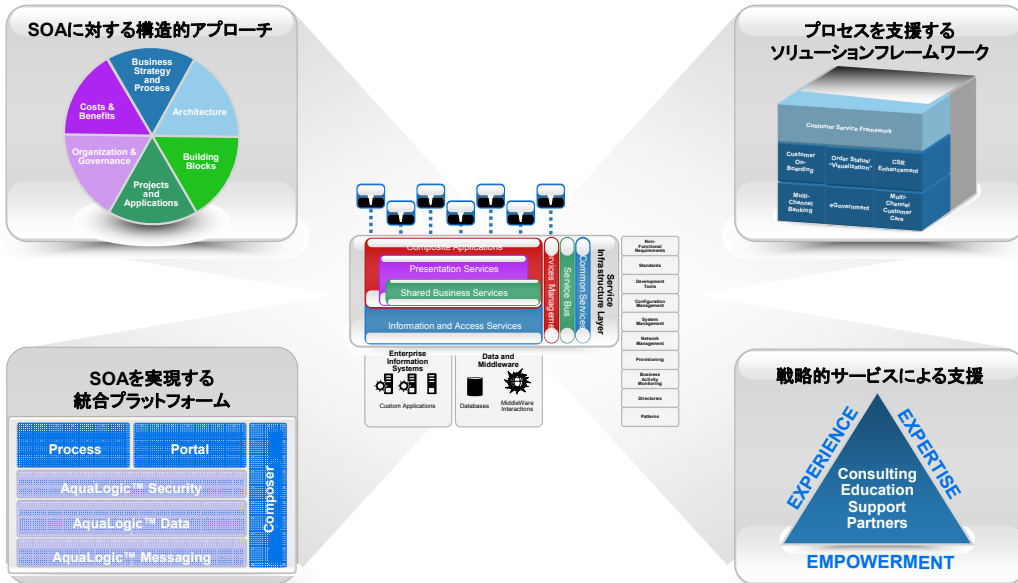
SOAとBEAの注目度は？

● メディアへの登場回数



出典 Lexis/Nexis Search of “service oriented architecture” or “service-oriented architecture”, February 2005

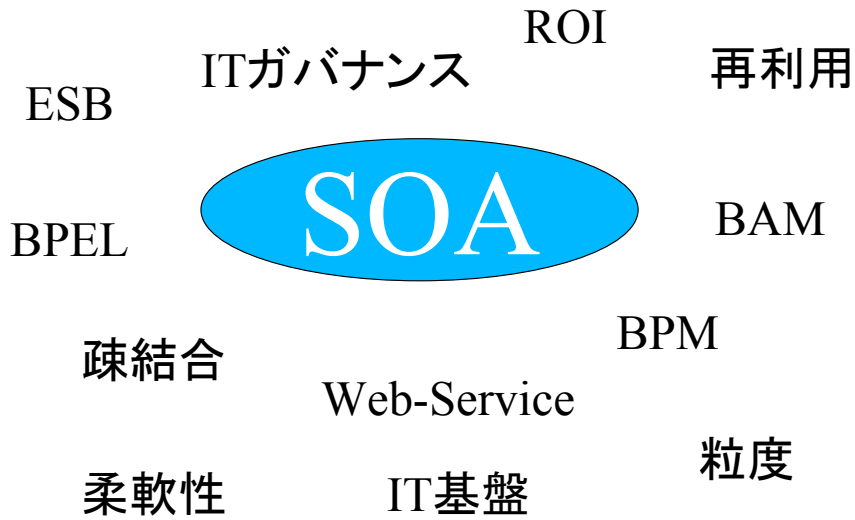
BEAのトータルなSOA戦略



Agenda

- SOAカンパニー BEAシステムズとは
- SOAとは
- SOA適用事例
- SOA Best Practice
- SOA コンサルティングメニュー

SOAを取り巻くキーワード



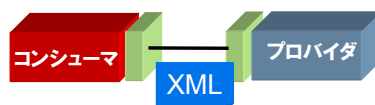
© 2005 BEA Systems, Inc. | 7



SOAの定義

企業アプリケーションにおける個々の機能を、

- ・相互運用性、
 - ・標準規格ベースでの接続、
 - ・再利用によるビジネスニーズへの即応性、
- に向けて構成するためのIT戦略である。



© 2005 BEA Systems, Inc. | 8



疎結合とは

- プログラムレベルでの理解
 - ▶ 2つのプログラム関係において、呼び出す側は呼び出す対象をプログラム内にハードコーディングしないアーキテクチャ。XMLのドキュメントを介してメッセージをやり取りするため、実装技術に依存しない。
 - 例、Web ServiceのWSDLを利用して通信
- システムレベルでの理解
 - ▶ 他に対しての依存性が低いアーキテクチャであり、例えば、呼び出せる側がダウンしていても呼び出す側に影響を与えないアーキテクチャ
 - JMS、MOM等のメッセージング通信
- ファイル転送は疎結合か？
 - ▶ ファイル転送は結合が完全に一度切れるため、疎結合というより「結合していない」と理解される。

SOAで構築する目的

柔軟性・迅速性の高いシステム

影響範囲がわかる・小さい

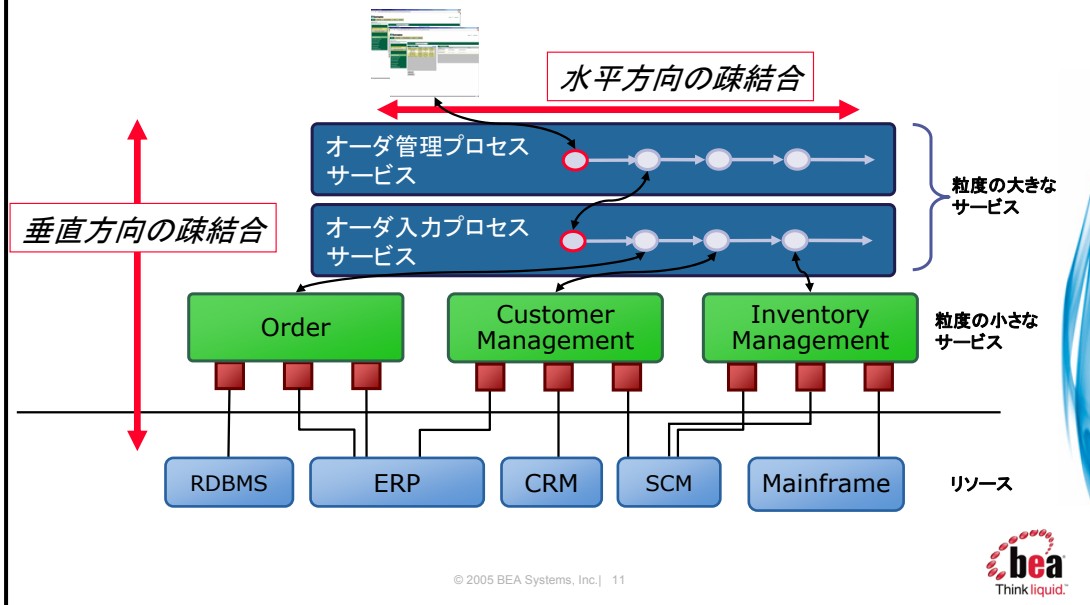
依存関係が低い・独立性が高い

疎結合アーキテクチャ

だから

SOA

SOAの目指すアーキテクチャとは？



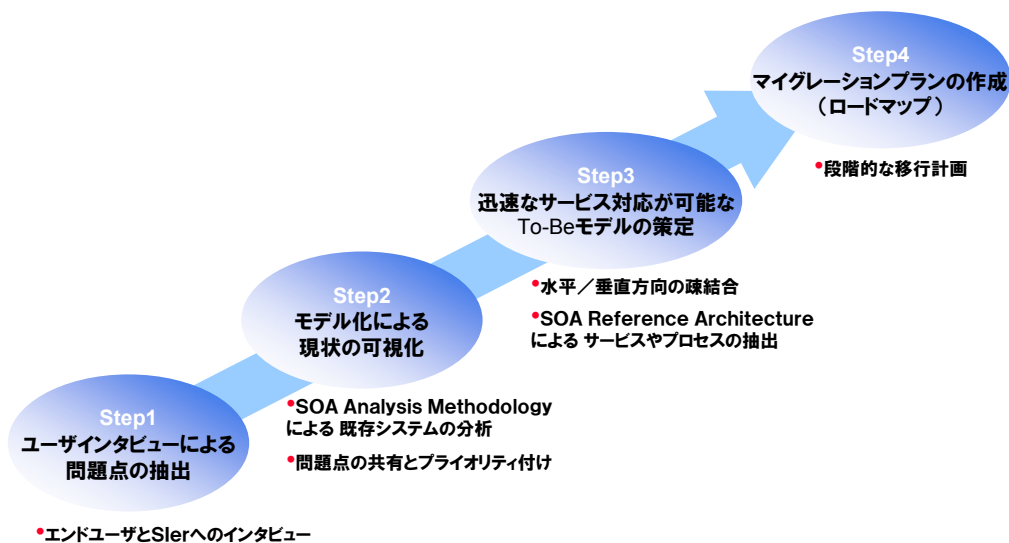
Agenda

- SOAカンパニー BEAシステムズとは
- SOAとは
- SOA適用事例
- SOA Best Practice
- SOA コンサルティングメニュー

SOA適用パターン

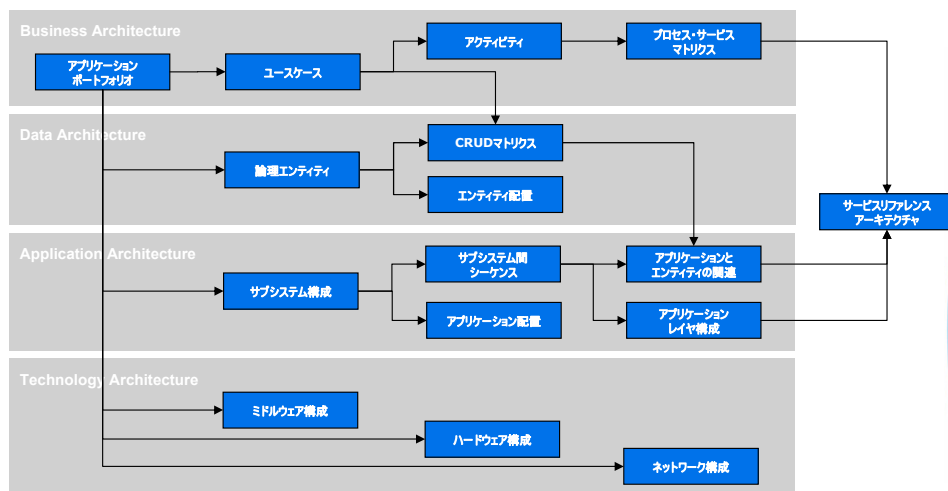
- EA実現アプローチ
 - ▶ EAの To-Be モデルアーキテクチャとして、SOAの適応を検討
 - ▶ ビジネスプロセスのSOA活用
- SOA基盤アプローチ
 - ▶ SOAベースのIT基盤を構築
 - ▶ システム連携基盤を整備
- レガシーマイグレーションアプローチ
 - ▶ 既存資産有効活用としてのSOAアプローチ
 - ホストマイグレーション
 - ERP接続型

解決へのアプローチ



全体アーキテクチャ分析

● BEA SOA Analysis Methodology



© 2005 BEA Systems, Inc. | 15



Agenda

- SOAカンパニー BEAシステムズとは
- SOAとは
- SOA適用事例
- SOA Best Practice
- SOA コンサルティングメニュー

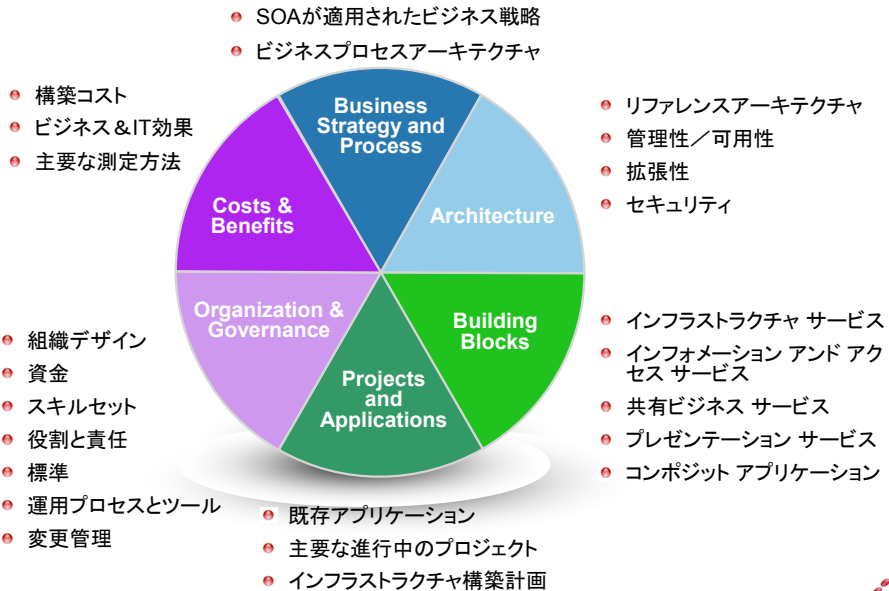
© 2005 BEA Systems, Inc. | 16



BEA SOA Domain Model

ITの俊敏性を確保する

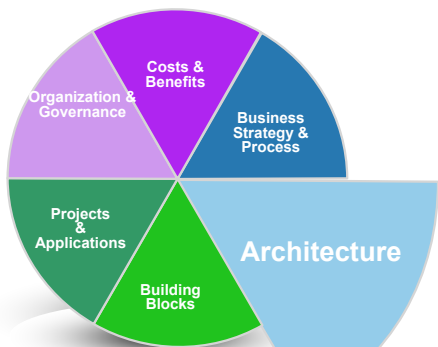
©



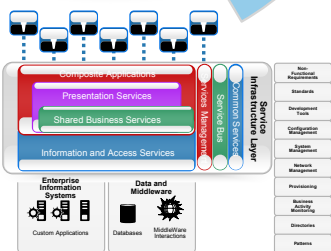
© 2005 BEA Systems, Inc. | 17



リファレンスアーキテクチャの構築



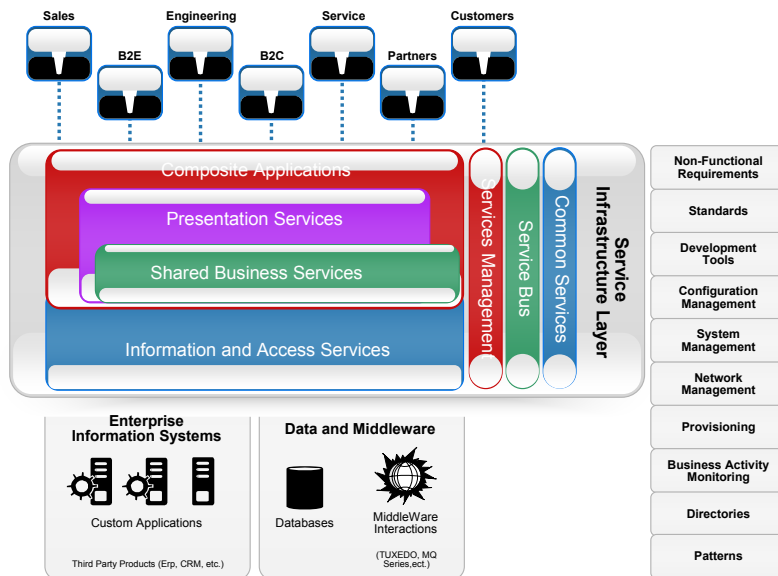
1. As-Isのシステムデザインではなく、今後行くべき方向へ向けての長期ビジョンである。
2. 成功する企業では、彼らが何を成し遂げるべきかというアーキテクチャ上のビジョンを、2、3年先まで、持っている。
3. 全体で使用する共有サービス候補を定義すると同時に、ひとつの主要プロセスから着手する。
4. アーキテクチャに関わる原理・原則ガイドライン/ポリシーを定義することに時間を割く。



© 2005 BEA Systems, Inc. | 18



リファレンスアーキテクチャ...



SOA成熟度モデル

	0	1	2	3	4	5
Business Strategy & Process		As-Is	短期		中期	長期
Architecture	As-Is		短期		中期	長期
Building Blocks	As-Is	短期			中期	長期
Projects & Applications		As-Is	短期		中期	長期
Organization & Governance	As-Is	短期		中期		長期
Costs & Benefits		As-Is	短期		中期	長期

Legend:

- As-Is (Red outline)
- 短期 (Blue outline)
- 中期 (Yellow outline)
- 長期 (Green outline)



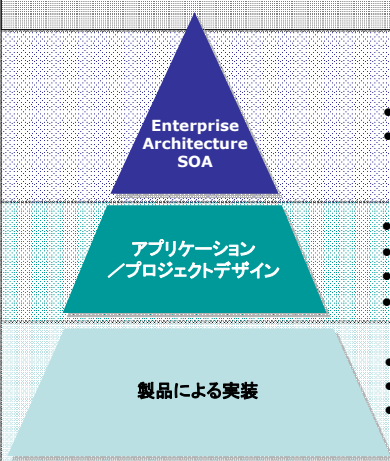
SOA成熟度モデル 成熟度レベル

レベル 5	SOA適用	<ul style="list-style-type: none"> サービス組み立てアプローチが可能にする、ビジネス機会の継続的分析/実現 共有サービスの改良と合理化 	ステージ 3: 活用
レベル 4	企業レベルのSOA適用	<ul style="list-style-type: none"> 密接なITアーキテクチャの標準化と異なるシステム間の連携 部門を超えた、リファレンスデータモデルや共有サービスの活用 	
レベル 3	SOAレポート可能	<ul style="list-style-type: none"> 多部門を支援する共有サービスチームの中央集権化 多年度の企業レベルSOA戦略の計画が定義/文書化 	ステージ 2: 発展
レベル 2	SOAアプローチ定義	<ul style="list-style-type: none"> 一部門による、部門間リファレンスデータモデル&サービスの提示(初版) 最初のサービスリリースとリファレンスデータモデル(仮)の提示 	
レベル 1	SOA増当たり適用	<ul style="list-style-type: none"> 一部門向け、中央集権的ITと組織とガバナンスチームの設置 SOA戦略調査中 	ステージ 1: 調査
レベル 0	SOA未適用	<ul style="list-style-type: none"> データやシステムが個別管理 具体的なSOAの考え方がない 	

Agenda

- SOAカンパニー BEAシステムズとは
- SOAとは
- SOA適用事例
- SOA Best Practice
- SOA コンサルティングメニュー

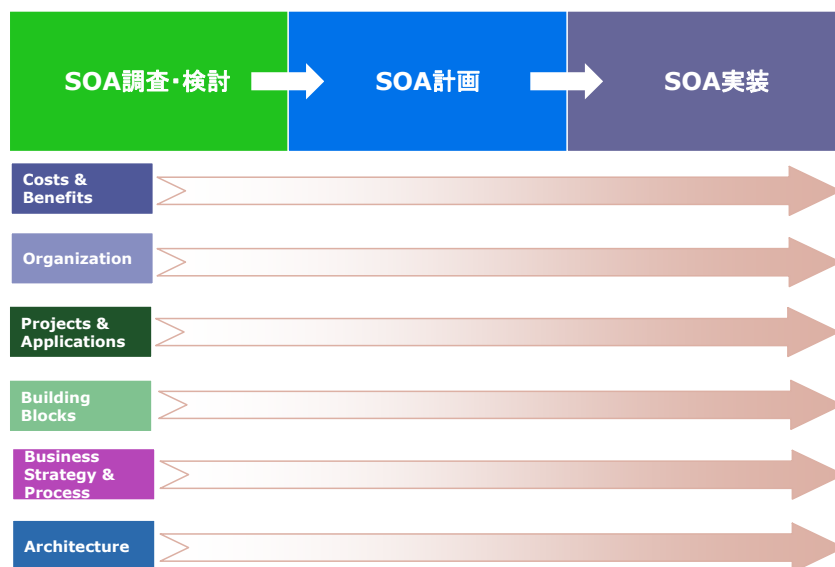
BEAコンサルティング 製品にとどまらない支援

	コンサルティング要望	BEAコンサルティング
 <p>Enterprise Architecture SOA</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 複数年、全体計画 • 複数部門、企業規模SOA 	<ul style="list-style-type: none"> • BEAエンタープライズアーキテクト • BEAコンサルタント • 戦略パートナー
<p>アプリケーション / プロジェクトデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> • リファレンスアーキテクチャ • アーキテクチャ上の広範な経験値 • 評価、POC • パイロットプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> • BEAアーキテクト • パートナ
<p>製品による実装</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 構成 • インストール • チューニング 	<ul style="list-style-type: none"> • BEA • パートナ技術者

© 2005 BEA Systems, Inc. | 23



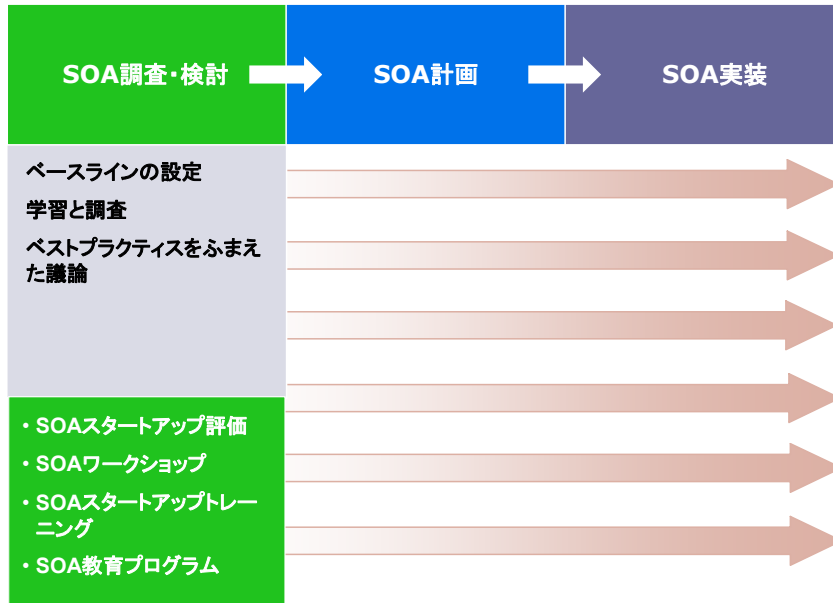
SOA導入段階のBEA支援



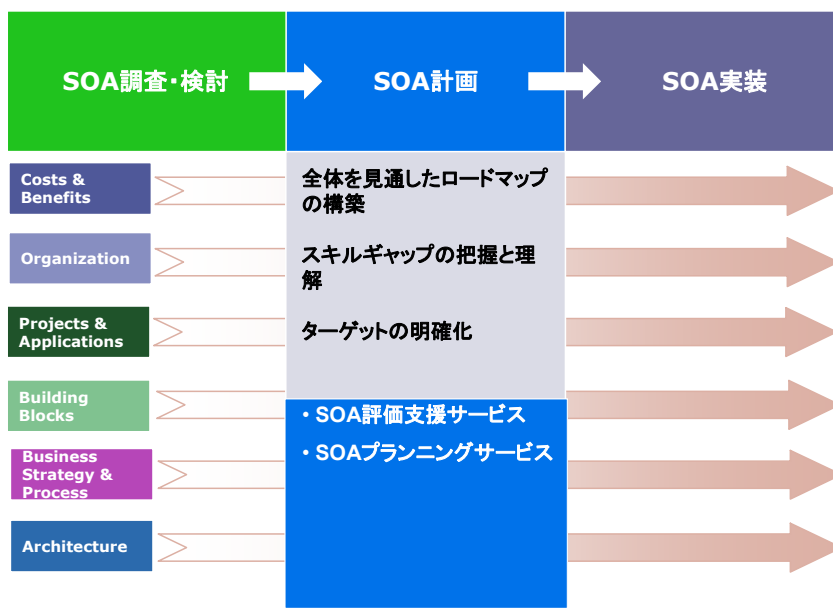
© 2005 BEA Systems, Inc. | 24



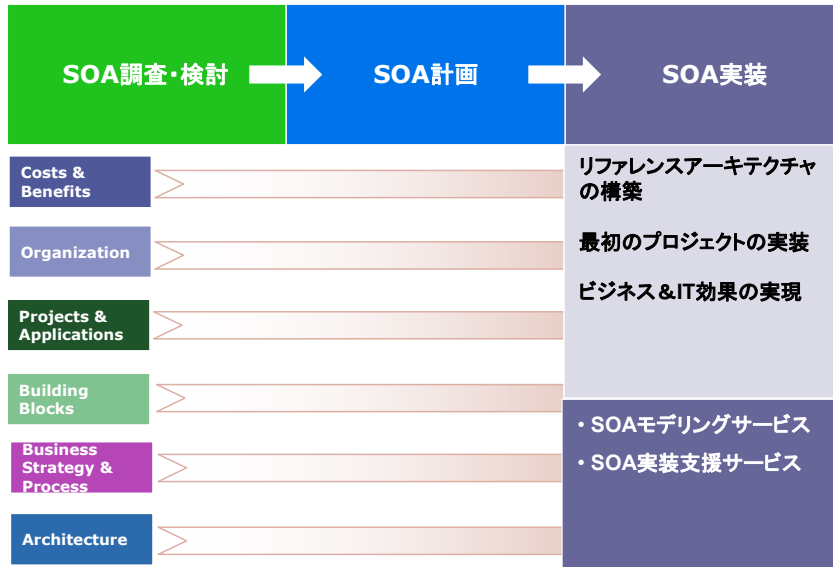
SOA調査・検討



SOA計画



SOA実装



© 2005 BEA Systems, Inc. | 27



www.beasys.co.jp

12/13/2005

日本BEAシステムズ株式会社
プロフェッショナルサービス本部

© 2005 BEA Systems, Inc. | 28

